

議員研修会を行いました

市議会は、1月28日に京都精華大学准教授の山田創平氏を講師としてお迎えし、「性の多様性について知る、考える」をテーマに議員研修会を実施しました。

SOGI（性的指向・性自認）



に関する人権についての公的見解やおかれている現状、ダイバーシティ推進の具体的な取り組み例などについて講演していただきました。



新任議員等の市内施設見学・研修会

平成31年4月の市議会議員選挙の結果、新しく就任した議員等を対象に市内施設等の見学・研修会を1月21日に行いました。

大住工業専用地域、大住ふれあいセンター、薪浄水場、甘南備園など7カ所を見学するとともに、市の担当職員から説明を受けました。



第5回議会報告会を開催しました

2月8日に三山木福祉会館で第5回議会報告会を開催しました。決算特別委員長から平成30年度決算認定について、第4次総合計画特別委員長から第4次総合計画について、それぞれ審議内容の報告をしました。その後、参加者に2つのグループに分かれていただき、それぞれに議員が同席して、先ほどの報告や市政全般に関する質疑応答及び意見交換を分散会形式で行いました。



前回より増して活発な意見交換をすることができました。引き続き開催していきますので、次回の議会報告会には、是非ご参加ください。

委員会管外視察報告

【文教福祉常任委員会】

1月15日に大阪府枚方市において「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」について管外視察研修を実施しました。

同センターは平成25年4月に設立され、15歳からおおむね39歳までの不登校、ひきこもり、ニート等に関する相談を受け、対応方法や支援を継続して行い、必要に応じて、より適した支援機関等へ紹介されています。

説明を受けた後、京阪枚方市駅、駅前ビルにある同センターへ移動し、施設見学を行いました。



【議会運営委員会】

1月23日に神奈川県横須賀市で「議会報告会・議会のICT化」について、翌24日には神奈川県藤沢市で「議会ICT化」について管外視察研修を実施しました。

横須賀市では、高校生を対象にした議会報告会、ペーパーレス会議システムなどの説明を受け、本市にとって新しい取り組みについて研修をしました。



藤沢市では、タブレット端末を導入するまでの経緯や取り組みについて説明を受け、導入のメリット・デメリットについて研修をしました。

【広報編集特別委員会】

1月29日に滋賀県甲賀市で「議会だよりの編集及び取り組み」について管外視察研修を実施しました。

A4版の編集体系やタブレット端末を活用した編集会議などの説明を受け、効率的な編集作業について研修をしました。



【建設経済常任委員会】

2月3日に東京都西東京市で「都市農業・農業からまちの魅力発信」について、翌4日には東京都町田市で「新・町田市交通安全行動計画」について管外視察研修を実施しました。



西東京市では、東京近郊ならではの兼業農家の特殊性、都市農業や近郊農業の情報発信などの説明を受け、多様な農業施策について研修をしました。

町田市では、交通安全に対する地道な活動の成果や市民との連携協力について説明を受け、具体的実行施策の重要性について研修をしました。

可決した意見書(要約)

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

世界で猛威をふるう新型コロナウイルス感染症は、未だ事態の収束は見えない。

我が国においても、保険・医療体制の拡充、各種イベント等の中止・延期や学校の全国一斉臨時休業の要請、緊急対応策第一弾及び第二弾のとりまとめ、新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正など、さまざまな措置を講じられてきた。京田辺市もこれらの措置に対応し、国と府と一体となり全力を尽くしているところであるが、感染者増加の懸念は拭い切れず、依然として予断を許さない状況である。また、感染された方に対する人権等を侵害する事案も見受けられる。

感染の拡大と影響の長期化に伴い、保険・医療機関・介護・障がい者施設等にかかる負荷はより大きくなるが見込まれる。そして経済面では、業種、規模、地域を問わず、多くの事業者が厳しい状況に追い込まれ、雇用の確保や事業の継続をも危ぶむ声も出ている。

については、国におかれては、感染の爆発的な拡大の防止と重症化の予防に必要な措置を講じ、早期に事態を収束させるとともに、厳しい経済環境にあっても国民生活の安定を確保するために、次の事項について、迅速に取り組みされるよう強く要望する。

- 1 冷静に行動できるよう、国民、地方公共団体に対し、感染予防及び治療体制等について、正しい情報を迅速に提供すること。
- 2 感染拡大防止のために、診察及び検査が適切に行えるよう、遺伝子検査(PCR法)体制のいっそうの強化、充実を早急に図ること。
- 3 マスクや消毒液等の衛生資材が、医療機関や介護施設をはじめ必要な国民のために安定的に提供されるよう、必要量の確保に取り組むこと。

※本会議に提案された意見書の全文は、ホームページに掲載しています

お詫びと訂正

第167号(11月1日発行)の6面「議員13名が一般質問」の記事、及び第168号(2月1日発行)の10面「議員16名が一般質問」の記事の記載に誤りがありました。お詫びするとともに、次のとおり訂正いたします。

◎第167号6面
南部登志子議員の外国人に対しての送付する文書に関する記事において「不能欠損」と記載していましたが「不納欠損」に訂正いたします。

◎第168号10面
菊川和滋議員のJR松井山手駅舎トイレ等のユニバーサルデザイン化ほかに関する記事において、答弁者「経済環境部長」と記載していましたが「建設部長」に訂正いたします。